



週刊

24時間

週

三木

週捲り

154



## 踊り

オモチャのピアノの自動演奏で、ぬ君踊り出す。「ぬ君お仕事ね」とトント、トント跳ね回る。団地だったら、「ウルサイ」と怒られる。Kaさん、フられて踊り出す。2回でフウろお疲れさん。ぬ君、疲れ知らずの踊り。



向い風で生きる  
自転車

で追い風は楽だけど、向い風はキツイよね。でも追い風の時は、その恩恵に気付かず、まるで、自力でスイングしている気持でいるんよ。追い風の後は向い風に決まっているのに。後で悔やんだって、しょうがない。だから、いつも向い風状態で生きるパワーをつけりゃいいのに。

大人の社会

Baさんは人

生の成れの果てのネットウラ造  
リしてゐるんだけど、これから  
成長する俺君は、用心深く、思  
慮深く言葉を選んで喋べら  
なくなくて行くんだろウチなあ。  
大人の社会は恐ろしいし、厳  
しいからなあ。



シャベクル

どこかで見た光景、有ったよなあ。おれ君も図書館でよそのおれさんとよその子に気さくに素直に、有リっただけの知識でシャベクル。ボク皆と友達にならあげると、シャベクル。





**若者みたい**

あんなさ、あんなさ、  
 さ、財過ぎても振り返らなくていい。だから、  
 る気も余裕もない。だから、  
 同窓会に行かないし、行けな  
 い！ まるで若者みたいだに、  
 これからの強(財まで)の生き  
 る心の糧を得るのに必死、必  
 死なんよ。体力は若者に負  
 けるけれど、経験能力は若者  
 の数倍上回っているもん。負  
 けんもん。負けるもんか！

# 発想の宝庫

「Jiちゃんは落

書きしたぬ君を何故怒らんの？」と皆に言われ。「ママママ」何んと次から次へと発想の宝庫なのか。感心して用いた口が塞がらんだけさ。本当に、本当に、困ったもんじゃない。



食物創作



唯君はアイスクリー  
ムに牛乳入れて、溶かして食  
べようとして、Baちゃんに「ダメ  
」と言われた。でもBaちゃんに  
「イイヨ」と言われるから、めげ  
ない。Baちゃんねえ、食物創作  
はこうして始まるんよ。